

令和8年第4回教育委員会議事録

開催日時	令和8年4月23日(木)
	午前9時30分～午前11時30分
場所	八潮市役所大会議室
出席者	教育長 井上 正人
	教育長職務代理者 加藤 正道
	委員 木下 史江
	委員 高橋 洋一
	委員 橋本 珠美
事務局出席者	教育部長 千葉 靖志
	教育部理事 猪原 誠一
	教育部副部長兼社会教育課長 倉林 昌也
	教育部参事兼文化財保護課長兼資料館長 横山 道男
	教育部副部長兼保健給食課長 山内 修
	教育総務課長 松本 啓介
	新設小学校準備室長 柳町 貴栄
	新設小学校準備室主幹 古川 剛
	社会教育課主幹兼公民館長兼図書館長 藤田 啓介
	文化財保護課副課長兼文化財保護係長 関 絵美
	保健給食課主幹 竹田 紘子
	小中一貫教育課長 山口 朋幸
	小中一貫教育主幹 坪田 桂樹
	教育総務課庶務係長 関根 郁也
	教育総務課庶務係休代替任期付職員 鈴木 智子

《開会の言葉及びあいさつ》 井上教育長

《会議事項》

1. 教育長職務代理者の選任について

○井上教育長

高橋委員が令和8年3月31日をもって任期満了となり、令和8年4月1日付で新たに市長から教育委員会委員として任命されました。

つきましては、教育長職務代理者につきまして、4人の委員の中から選任していただきたいと存じます。

○木下委員

昨年度に引き続き、加藤委員に務めていただきたいと思います。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

○井上教育長

引き続き、加藤委員に教育長職務代理者をお願いいたします。

○加藤委員

了解いたしました。

2. 会議録の作成者について

○井上教育長

会議規則第16条第1項に基づき、関根教育総務課庶務係長、鈴木育休代替任期付職員の2名を作成者として指名します。

3. 会議録の承認について

(1) 令和8年第3回教育委員会定例会分

[出席教育委員全員が承認]

4. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

5. 専決処分¹の報告について

(1) 学童保育所設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について

[説明者 松本教育総務課長]

(1) 「八潮市立学童保育所設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について」 ご説明いたします。

この度の規則改正につきましては、だいはら学童保育所及びはちじょう学童保育所の利用定員数を増員する目的のものでございます。

学童保育所における待機児童の解消のため、だいはら学童保育所につきましては、従来の定員 60 人に対し、令和 6 年度の夏休み以降、預かり児童数の増加に伴い、暫定措置として、30 人増の 90 人での受入れを実施してまいりました。

しかしながら、当該状況が常態化していることから、この度、正式に定員を見直すための規則改正を行ったものでございます。

また、はちじょう学童保育所につきましては、従来の定員 30 人から 60 人へ増員するものでございます。

令和 7 年度までは、八條小学校敷地内の教育相談所と共同利用している別棟において預かりを実施しておりましたが、令和 8 年度から、八條小学校内の教室 2 室を改装し、学童保育所として運営するものでございます。

それでは、専決処分書を読み上げさせていただきます。

(専決処分書読み上げ)

ご説明は以上でございます。

(2) 八潮市学童保育の運営に関する規則について

[説明者 松本教育総務課長]

(2) 「八潮市学童保育の運営に関する規則について」 ご説明いたします。

先ほどのだいばら学童保育所及びはちじょう学童保育所と同様に、潮止・大曽根・中川の各小学校におきましても、待機児童の解消を目的として、令和8年度から新たに学校教室等を改修し、それぞれ定員30人規模の学童保育を業務委託により実施しております。

これに伴い、その運用に関する規則を新たに定めたものであり、内容については公設公営の学童保育所と同様の条件としております。

資料の最後のページをご覧くださいと、しおどめ・おおそね・なかがわの各学童保育所の位置付けを記載しております。

それでは、専決処分書を読み上げさせていただきます。

(専決処分書読み上げ)

ご説明は以上でございます。

(3) 八潮市立小、中学校の学校歯科医の委嘱について

[説明者 山内教育部副部長兼保健給食課長]

ご説明いたします。

今年度初めに、学校歯科医の委嘱を予定しておりました「戸原智子（とはらともこ）氏」から、委嘱の前に本人より辞退の申し出があったため、同校の学校歯科医に宮崎尚弘氏を委嘱することについて、専決処分をさせていただいたのでございます。

それでは、専決処分書を読み上げさせていただきます。

(専決処分書読み上げ)

(4) 八潮市立小中学校結核対策委員会委員の委嘱について

[説明者 山内教育部副部長兼保健給食課長]

ご説明いたします。

八潮市立小中学校結核対策委員会の委員であった「草加保健所長」に人事異動がございましたので、新たに同保健所の所長となった山川英夫氏を委員として委嘱することについて、専決処分をさせていただいたものでございます。

それでは、専決処分書を読み上げさせていただきます。

(専決処分書読み上げ)

(5) 八潮市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則について

[説明者 竹田保健給食課主幹]

八潮市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則についてでございます。

国の給食費負担軽減交付金の新設に伴う規則改正でございます。

前回の定例会において、令和8年4月より公立小学校に在籍している児童の保護者から物価高騰分を含めた学校給食費の徴収を行わず、全額公費により負担するため、給食費に関する規則の一部を改正する予定であるとのご説明をいたしました。この度、4月7日に国の予算が成立いたしましたので、専決処分をさせていただいたものでございます。

それでは、専決処分書を読み上げさせていただきます。

(専決処分書読み上げ)

(6) 八潮市学校運営協議会委員の委嘱について

[説明者 坪田小中一貫教育課主幹]

令和8年度の学校運営協議会委員について、先月、3月にも議案としてお諮りいただきましたが、今回の専決処分につきましては、令和8年度当初の教職員人事異動があったことから、令和8年4月1日より新たに42名の方を委員として委嘱いたしました。

42名の方につきましては、資料のとおりでございます。なお、推薦区分は学校によって違いはございますが全員学校の管理職又は主幹教諭となります。

それでは、専決処分書を読み上げさせていただきます。

(専決処分書読み上げ)

6. 議 題

議案第18号 八潮市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る意見聴取について

[説明者 松本教育総務課長]

八潮市スポーツ推進審議会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市スポーツ推進審議会条例(昭和63年条例第2号)第4条の規定により、教育委員会の意見を求める。

令和8年4月23日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 八潮市スポーツ推進審議会条例第4条の規定により、八潮市長から八潮市スポーツ推進審議会委員の委嘱に対する教育委員会の意見を求められたので、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第19号 八潮市入学準備金貸付審査会委員の委嘱について

[説明者 松本教育総務課長]

八潮市入学準備金貸付審査会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市入学準備金貸付条例施行規則(昭和47年教委規則第2号)第12条の規定により、議決を求める。

令和8年4月23日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 人事異動及び任期満了に伴い、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第20号 八潮市教育資金貸付審査会委員の委嘱について

[説明者 松本教育総務課長]

八潮市教育資金貸付審査会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市教育資金貸付条例施行規則（平成元年教委規則第2号）第12条の規定により、議決を求めらる。

令和8年4月23日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 人事異動及び任期満了に伴い、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第21号 八潮市立小中学校施設建設委員会委員の委嘱について

[説明者 松本教育総務課長]

八潮市立小中学校施設建設委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市立小中学校施設建設委員会規則（昭和57年教委規則第4号）第3条の規定により議決を求めらる。

令和8年4月23日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 人事異動に伴い新たに委員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 2 2 号 新設小学校開校準備委員会委員の委嘱について

[説明者 古川新設準備室主幹]

新設小学校開校準備委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、新設小学校開校準備委員会設置要綱第 4 条の規定により議決を求める。

令和 8 年 4 月 2 3 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 人事異動に伴い新たに委員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 2 3 号 八潮市立資料館協議会委員の委嘱について

[説明者 横山教育部参事兼文化財保護課長兼資料館長]

八潮市立資料館協議会委員に次の者を委嘱したいので、八潮市立資料館協議会規則（平成元年教委規則第 6 号）第 3 条の規定により議決を求める。

令和 8 年 4 月 2 3 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 前任者が令和 8 年 4 月 3 0 日をもって任期満了となるため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 2 4 号 八潮市学校給食衛生管理委員会委員の委嘱について

[説明者 竹田保健給食課主幹]

八潮市学校給食衛生管理委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市学校給食衛生管理委員会規則第 4 条の規定により議決を求める。

令和8年4月23日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 新たに八潮市学校給食衛生管理委員会委員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第25号 八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会委員の委嘱について

[説明者 山内教育部副部長]

八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会規則第2条第2項の規定により議決を求める。

令和8年4月23日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 人事異動に伴い、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第26号 八潮市就学支援委員会委員の委嘱について

[説明者 山口小中一貫教育課長]

八潮市就学支援委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市就学支援委員会規則（昭和62年教委規則第7号）第2条の規定により、議決を求める。

令和8年4月23日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 前任者の任期満了に伴い、この案を提出するものである。

(資料説明)

(質疑なし)

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

7. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育部長

私からの連絡事項は2点でございます。

はじめに「令和8年度当初予算案の概要」についてでございます。

まず、本市の会計規模ですが、令和8年度八潮市一般会計予算は、471億1千万円で、対前年度比約31億円、7.2%の増となっております。

目的別の歳出の状況でございますが、「10の教育費」につきましては、82億1098万4千円で、対前年度比で約17億7千万円、27.6%の増額となっており、増減率では、商工費に続き2番目に多くなっております。新設小学校の建設費が増額の主な要因でございます。

続きまして、令和8年度当初予算における主な事業のうち、教育委員会に係る事業につきましてご説明いたします。

03 学童保育所の拡充では、学童保育所の充実を図るため、はちじょう・しおどめ・おおそね・なかがわの各学童保育所において、定員を拡大するものでございます。

05 新設学童保育所の整備では、令和9年4月の新設小学校開校に合わせ、学童保育需要に対応するため、新設学童保育所の整備を実施するものでございます。

06 鈴木孝行教育基金を活用した事業では、教育環境の更なる充実を図るため、令和7年度に新設した鈴木孝行教育基金を活用して各種事業を実施するものでございます。

具体的には、学校図書蔵書管理システム導入や劣化した給食用食器の更新、8ゼミサマースクールの拡充英語検定の新規助成をするものでございます。

07 新設小学校の整備では、令和9年度の開校に向けて、昨年度に引き続き新設小学校の建設工事を実施するとともに、教材及び備品等を購入するものでございます。

08 給食事業の推進では、子育て世帯への支援策として、令和8年度より小学校の学校給食費の抜本的な負担軽減を実施するものでございます。

09 教育相談所の建設では、教育相談所の老朽化が進んでいることから、学校・家庭と連携した最適な支援を提供するため、令和9年度の開所に向けて、中馬場保育所跡地に新たな教育相談所を建設するものでございます。

10 G I G A端末の購入では、G I G A端末の更新を段階的に実施するため、令和8年度においては、小学校4年生から6年生の児童及び教職員のタブレット端末を更新するものでございます。

11 放課後こども教室の実施では、小学校施設を活用し、放課後のこどもたちの安全かつ安心な居場所を確保することを目的に、放課後こども教室を実施するものでございます。

12 文化財建造物の耐震改修では、文化財建造物の保護と見学者の安全を守るため、市指定文化財である旧藤波家住宅の耐震診断を実施するものでございます。

「令和8年度当初予算案の概要」についてのご説明は以上でございます。

次に、2点目、令和8年3月分の「市民の声ボックス」の受付及び処理状況についてでございます。

3月分は1件ございましたので、担当課長からご説明させていただきます。

●藤田社会教育課主幹

令和8年3月分の「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について、社会教育課図書館係に対し1件の投書があり、回答を求めないもののため、参考とさせていただきます。

内容といたしましては、「1歳8ヶ月の男の子を現在育てております。図書館に行くのは日々難しくなっていておりますが、駅前出張所図書窓口のおかげで大好きな読書を諦めずに続けることができます。設置していただき本当に

にありがとうございます。なお、駅前の子育て広場などで市民の方とお話ししても意外と知られておらず少し残念に感じております。」とのご意見でした。

子育て中ということで、外出が難しく、駅前の図書窓口をご利用いただけているようで、ご自身、また、お子さんの分の絵本等をお借りいただいているのだと思われまます。

駅前図書窓口は一般書もですが、絵本の貸出も多くなっており、記載いただいているように、より一層、多くの方にご利用いただけるように、今後も引き続き、周知を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

●猪原教育部理事

(1) 市内小・中学校の様子について

初めに、委員の皆さま、入学式や告示へのご対応ありがとうございました。

今年度の入学者数ですが、小学校が663名、中学校が591名で、合わせて1,254名が新たなステージに進みました。詳しい人数については、この後あらためてご紹介します。

それから、給食は4月10日からスタートしています。各学校でホールなどの衛生管理をしっかり行い、無事に始めることができました。今年度も引き続き、衛生管理と食育の充実に取り組み、安全・安心な給食を提供していきます。

大きなテーマとしては、小中一貫教育課を中心に動いていますが、「小中一貫教育」という考え方を軸に、これからの10年間、あらゆる取り組みにその意識を持って進めていきたいと考えています。

これまでの20年間、先生方や地域の皆さま、保護者の方々、そして教育委員の皆さまが積み上げてきたものを大切にしながら、その上で次の10年につながる“架け橋”となる部分を探り、挑戦していきたいと思っています。

今後さまざまな施策を進めていきますが、その都度、委員の皆さまからご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。

今年度のテーマは「架け橋に、なる」です。愛と想像力を持って、先生方や子どもたち、地域や保護者の皆さまにも共有していただけるような施策を打ち出していきたいと思っています。

詳細については、この後、山口中高一貫教育課長から説明いたします。

細かい点としては、不登校対策が大きな課題となっています。今年度は予算面でも配慮いただき、すべての小中学校にさわやか相談員を配置することができました。小学校については週2～3日の配置ではありますが、これまでのように「誰もいない」という状況は解消されています。今後は周知を進めながら、小学校での活用方法も工夫していく必要があると考えています。

単に配置するだけでなく、「配置してどう活かすか」という点までしっかり考え、声かけをしながら進めていきます。学校に通うことが難しい子どもたちを取り残さないよう、全力で取り組んでいきますので、さまざまな場面でご指導いただければありがたいです。

以上でございます。

●山内教育部副部長

「八潮市学校適正配置指針・計画（案）及び北部地区個別計画（案）に対する意見募集の実施結果と対応について」ご説明いたします。

本件につきましては、「学校適正配置指針・計画」を対象として実施したパブリックコメントの結果、多くの意見が提出されたことから、それらの意見に対する「市の対応及び考え方」を取りまとめたものでございます。

前回の定例会におきましては、提出された意見の概要について速報としてご報告いたしました。今回のA3版資料では、提出された意見の文言を精査するとともに、「市の対応及び考え方」を付したものであり、今後、市のホームページで公表する際の体裁と、同様の内容となっております。A4版の資料は、全体をまとめた資料でございます。

また、これらの資料は、この後、4月27日（月）と28日（火）に市議会議員に提供するとともに、4月28日に開催される「学校適正配置指針・計画策定委員会」におきましても、説明資料として提供させていただく予定です。

それでは、はじめに、A4版の方のまとめの資料をご覧ください。

（1）意見募集期間について

パブリックコメントの実施の結果と対応についてでございます。

まず、意見の募集期間でございますが、令和8年2月16日から3月17日までの30日間でございます。

（2）意見の件数について

意見の件数は30件であり、30人の方から提出されました。提出者はいずれも市内に住所を有する方です。本件は全体計画と北部の個別計画から構成されておりますが、意見の内訳としては、八條北小学校に係る北部の個別計画に関するものが多くを占めております。

提出された意見の主な内容について意見が多かった順にご説明をいたします。

1つのご意見の中に複数の内容があり、それぞれ1件とカウントしてまいります。

1番、北部地区の学校の統合時期を延ばしてほしい。今通っている児童の卒業まで待つてほしいという意見が多くございました。最多で13件でございます。

2番、北部地区の学校を統合しないでほしい。7件でございます。

3番、小規模特認校制度の周知不足が5件、小規模特認校制度の周知が不足していたことから、制度の利用者が少なかったのではないかというご指摘をいただきました。

4番、説明会での意見の計画への反映が4件、令和6年度及び7年度において、保護者や地域の方を対象に約30回の説明会を実施してきたことから、そこで出された意見を計画に反映してほしいという趣旨のものです。

5番、八條北小学校の早期の統合を希望するが3件、少人数であることの弊害についてのご意見でございます。

6番、小規模特認校制度の継続が3件

7番、統合のスケジュールに疑問がある、なぜ令和10年からなのか、早すぎるのではないかといった意見が2件

8番、子どもの意見の聴取が2件、子どもから直接意見を聞いていただきたいという内容でした。

9番、その他11件

①南部地区の新設中学校の建設について。市の南部に中学校予定地がありますが、新設中学校の早期開校を望む意見でした。

②道の駅の活用。現在計画されている北部の道の駅を活用し、学校の紹介コーナー等のスペースを設けることで移住を促進し、学校の存続を図ってほしいという意見がございました。

③避難所の確保。八條北小学校と八條中学校の機能が八條小学校に移転したのちに避難所がなくなってしまうことから避難所の確保を求める意見がございました。

④学校の跡地。学校の跡地の活用の利用方法（公園・避難所・体育館など）でございます。

⑤適正な通学距離。現在の計画では、小学生の通学距離は2km以内を適正としておりますが、1km程度までとすることが望ましいのではないかといった意見がございました。

⑥市内学校の校舎の耐用年数を見据えた建替え時期の平準化

⑦八潮中学校を活用した小中一貫校整備の検討。八條中学校に統合するのではなくて、八潮中学校を活用して小中一貫校の整備をしたらどうかという意見でございます。

⑧パブリックコメントの実施と小規模特認校制度休止の関係、パブリックコメントの実施途中での特認校制度の休止の決定についてご意見がございました。

⑨保護者や地域に対する丁寧な説明と情報公開を行ってほしい。

⑩八條北小学校の統合はやむを得ない。

⑪統合後の通学に関する不安について。主にスクールバスの詳細についての意見がございました。

(3) 意見と市の考え方について

以上の30件の意見に関しまして、市の反映区分でございます。

Aの意見を反映して、その案を修正するが0件でございます。

Bのすでに案の中で対応しているが2件（早期統合について）

Cの案の修正は行わないが、実施段階で参考としていくが4件

（新設中学校の建設について、避難所の確保、学校の跡地活用、校舎の耐用年数を見据えた建替え時期の平準化、等について）

Dの意見を反映できなかったが24件

Eその他0件でございます。

(4) 計画（案）に記載の複式学級について

令和6年8月に本市の小中学校における児童生徒数の推計を行ったところ、八條北小学校においては、推計上では令和8年度から複式学級となる見込みとなっておりましたが、実際の児童の在籍状況を勘案すると、令和8年度及び令和9年度は複式学級を回避することができるものと思われておりました。

しかしその後、令和8年3月中旬までに在校生の転居が複数あり、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだため、令和8年度は2年生と3年生を1学級とする複式学級となってしまいました。市教育委員会及び八條北小学校では、複式学級となった学級の教育環境を最優先に考え、令和8年度は加配教員による対応により、単式学級（学年ごとのクラス）と同様の教育環境を確保するものです。

今後のスケジュールでございますが、令和8年4月28日に八潮市学校適正配置指針・計画の策定委員会を行わせていただきます。報告内容につきましては、パブリックコメントの内容と市の対応についてご報告をさせていただきます。

その後、5月下旬に、八潮市学校適正配置指針・計画の策定委員会を開催し答申をいただく予定でございます。

その後、6月1日に総合教育会議を開催し、総合教育会議終了後、臨時教育委員会を開催、見直し後の八潮市学校適正配置指針・計画策定の議案を提出予定でございます。

以上でございます。

●柳町新設小学校準備室長

花桃小学校の工事現場の定点写真についてですが、新設小学校準備室から、3か月ぶりに提出させていただきました。

現在の工事の進捗ですが、建物はすでに4階まで立ち上がっており、最上階まで到達しています。残すところは屋上のみで、来月5月には上棟の予定となっています。

また、内装工事については1階からすでに着手しています。昨今の世界情勢の影響で、資材の調達に不安な面もありますが、令和9年4月の開校に向けて、日々工事を進めているところですので、ご報告いたします。

それからもう一点、資料はございませんが、「未来ロータリークラブ」様からテントを2張りご寄付いただけるとのご連絡をいただいております。詳細については、整い次第あらためてご報告いたしますが、大変ありがたいご支援ということでお伝えさせていただきます。

補足になりますが、委員の皆さまによる現地視察については、上棟後、現場が整理され次第、実施を計画しております。こちらも改めてご案内いたします。

以上でございます。

●倉林教育部副部長兼社会教育課長

社会教育課から、報告・連絡事項1点について、ご説明いたします。

社会教育課資料をご覧ください。

「やしお市民大学・大学院入学式及び始業式についてでございます。お手元の資料でございますとおり、やしお市民大学第23期生の入学式及び始業式を5

月16日(土)、13時30分から、八潮メセナ集会室で挙行政致します。委員の皆様のご出席をお願いするとともに、(加藤委員には閉式のお言葉をお願いしたいと存じます。)いたします。

今年度は、市民大学では、14名(男性5名、女性9名、平均年齢64.3歳)の新入生を迎えるとともに、9名(女性9名、平均年齢が68.9歳)の方が第2学年へ進級いたします。

また、市民大学大学院は3名(男性3名、平均年齢63.7歳)の方から入学の申込みがありました。なお、昨年度からスタートした再入学及び聴講生制度でございますが、再入学はございませんでしたが、聴講生は6名の方から希望をいただいております。

社会教育課からは以上でございます。

●横山教育部参事兼文化財保護課長兼資料館長

文化財保護課からの報告・連絡事項は2点でございます。

報告・連絡事項の① 第102回歴史講座「絵図でたどろう～南川崎の史跡めぐり～」の実施結果についてご報告いたします。

お配りいたしました「文化財保護課資料1」と当日に配布しましたレジュメをご覧ください。

4月17日(金)に開催いたしました歴史講座では、江戸時代に作成された絵図や明治時代の古地図をもとに、身近に遺る史跡の見学会を行いました。

参加者は11名でございました。

見学地区は南川崎地区で、寺社仏閣など6カ所の史跡を中心に見学いたしました。

参加者アンケートでは、「70年住んでいるが知らないことだらけであった。大変良かった。」「地元の事でも知らない事が分かり良かった。いつも見て(歩いて)いた所が興味深くなりました。」等の意見が寄せられ、あらためて地域の歴史文化を認識する機会としていただけたのではないかと考えております。

次に報告・連絡事項の② 季節展示「端午の節句」の開催についてご説明いたします。

「文化財保護課資料2」をご覧ください。

資料館併設古民家、市指定文化財旧藤波家住宅等を会場に開催する季節展示は、各家庭に伝わる伝統行事の紹介を行っています。

4月18日から5月10日を会期とする今回の展示では、子どもの成長を願う節句行事「端午の節句」を取り上げました。

武者飾りやこいのぼり等を展示し、節句行事の発生源や行事のうつりかわり、飾り物に込められた願いについて紹介しています。

委員の皆様にも是非ご観覧いただきたく、ご案内申し上げます。

文化財保護課からの報告・連絡事項は、以上でございます。

●竹田保健給食課主幹

保健給食課からの報告・連絡事項3点でございます。

まず、①学校給食費の収納状況についてご説明いたします。

保健給食課資料1「令和7年度学校給食費収納状況一覧表」をご覧くださいと存じます。

資料の表面は、小学校の4月から3月までの「収納額・未納額・収納率」の一覧となっております。右下にございます収納率は「99.93%」でございます。

また資料の裏面は、中学校の一覧となっており、収納率は「99.90%」となっております。

このページの右下が、令和7年度3月分までの、小中学校を合算した「まとめ」でございます。

収納率は「99.92%」、未納額は「22万990円」、現在のところ、一旦「99.92%」という数字でございますが、納付が遅れている方から、5月31日までに納付いただいた場合には、令和7年度分の収入となりますので、収納率はさらに上がる可能性があるものでございます。

次に、②八潮市学校給食センター整備基本構想及び基本計画策定等支援業務委託プロポーザルの実施についてご説明いたします。

保健給食課資料2をご覧ください。

こちらは現在、市ホームページで公表している内容でございます。前回は簡単にご説明いたしましたが、令和8年度から基本構想・基本計画策定等の取り組みを進めるため、本事業の支援業務を公募型プロポーザルで参加事業者を5月8日まで募集しております。この後、5月19日にプレゼンテーションを実施し、提出された企画提案書を併せて、総合的に庁内の選定委員の方に評価をしていただき、最も優れた業者を選定する予定でございます。6月上旬には契約を締結する予定でございます。

続きまして、③学校給食についてについてご説明いたします。

保健給食課資料3の学校給食献立表をご覧ください。

小学校新1年生は、初めての学校給食のため、食べやすく、子どもたちが好きなメニューを取り入れた特別メニューを4月17日から22日の4日間を提供しております。新1年生の準備等のサポートをするため、希望があった2校に栄養士が訪問し、子どもたちが、楽しく食べている様子を伺うことができました。裏面は中学校用の献立表になります。

今年度も子どもたちにとって給食が楽しい時間になるように、献立に工夫をしたいと考えております。

保健給食課からの説明は以上でございます。

●山口小中一貫教育課長

小中一貫教育課、報告連絡事項につきまして、小中一貫教育係及び指導係所掌③～⑧について、私からご説明させていただきます。

はじめに、③令和8年度学校教育エイトプランについてご説明いたします。

八潮市小中一貫教育21年目を迎え、サードステージのスタートにあたり、デザインを一新いたしました。

新たな八潮市小中一貫教育のビジョンと連動して、引き続き、2つの重点、8つの柱に基づき、学校教育の一層の充実を図ってまいります。

続きまして、④令和8年度学力向上ガイドラインについてご説明いたします。こちらでもデザインを一新しております。

「エイトプラン」同様、新たな八潮市小中一貫教育のビジョンと連動して、引き続き、児童生徒の学力向上を最重要課題として、取り組んでまいります。

続きまして、⑤令和8年度小中一貫教育推進「はばたきプラン」についてご説明いたします。

4月10日に、小中一貫教育推進委員会改め、市内小中学校の全校長先生方をメンバーとする小中一貫教育デザイン会議を新たに開催し、サードステージのビジョン案並びに「はばたきプラン」について、確認・承認していただきました。尚、今年度は、大原中学校ブロックが11月26日（木）に発表を予定していません。

続いて、別添資料「デザイン案／ストーリー」をご覧ください。

こちらは、デザイン会議で配布した資料となります。はばたきプランと合わせて、後ほどじっくりとお読みいただきたいと思います。概要についてご説明させていただきます。

サードステージの教育ビジョン「架け橋に、なる。」

教師も子どもも、自ら問いを立て、他者と繋がり、未来という対岸へ自ら「架け橋」を架けていく主体になる。そんな願いを込めました。

「未来を創造する児童生徒」を目指す姿とし、それを支える「4つの柱」は①深い学び②探究的な学び③多様性の包摂④余白の創出、これらを実行するための「4つの会議体」は、①全校長先生をメンバーとする小中一貫教育デザイン会議②全教頭先生をメンバーとする小中一貫教育アクション会議③これまでの6部会改め4つの小中一貫教育L a b o④これまで以上に各中学校ブロックが自走する小中一貫教育ブロック会議です。

また、小中一貫教育 Labo は、①けいかくマネジメント Labo②まなびデザイン Labo③Well - Being Labo④DX みらい Labo の4つで、市内各小中学校の先生方がメンバーとなって研究を進めてまいります。

サードステージ、八潮市小中一貫教育が変わります。パワーアップします。その1年目をスタートしました。進捗状況につきましては、「(仮称)小中一貫教育だより」の発行と合わせまして、随時ご報告させていただきます。

続きまして、⑥3月4月の事件事故報告についてご説明いたします。

3月4月の事件事故の報告は、合計7件で、内訳は、虐待疑い1件、家出1件、負傷救急搬送2件、疾病1件、窃盗1件、SNSトラブル1件ございました。新年度早々、救急搬送が2件続き、1件は手術が必要な大怪我となってしまいました。また、虐待疑いや家出、窃盗、SNSトラブルについては、警察や児童相談所と連携して対応を継続しております。

続きまして、⑦教育委員会学校訪問及び懇談についてご説明いたします。

今年度も「中学校ブロックごと」に、教育委員会学校訪問を実施いたします。9月25日(金)、10月20日(火)、12月22日(火)、全3回、それぞれ、定例教育委員会終了後、会場校にて給食を召し上がっていただきまして、引き続き懇談会実施という流れで計画しています。

また、新任、転入校長の学校につきましては、主に会場校として、個別の学校訪問と抱き合わせで実施いたします。

恐れ入りますが、スケジュール調整をよろしく願いいたします。

最後に、⑧小中一貫教育課所掌事業教育委員参加依頼予定行事一覧表についてご説明いたします。

こちらが、今年度の教育委員の皆様に参加を依頼させていただきたい、諸行事の予定一覧でございます。

詳細が決まり次第、都度ご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

小中一貫教育係・指導係からの報告連絡事項は以上でございます。

この後、学務係坪田主幹からご説明させていただきます。

●坪田小中一貫教育課主幹

小中一貫教育課①と②につきまして、私よりご説明申し上げます。

まず初めに、①令和8年度児童・生徒数等につきまして一覧表をご覧ください。

こちらは令和8年度の児童生徒数と学級数についてとなりますが、小中学校の児童生徒数と学級数の合計及び前年度比較をご説明させていただきます。

まず、小学校についてです。児童数の合計が、4,279名で前年度比14名の増です。学級数が通常学級148学級で前年度比2学級の減、特別支援学級が31学級で前年度比1学級の増となり、小学校全体で1学級の減となります。

八條北小学校の2・3年生につきましては、3月にもお伝えしたとおり、複式学級となりました。ご覧の表では、2年と3年の枠を結合し、「1」と計上しております。

次に、中学校に移ります。生徒数合計が1,967名で前年度比90名の減、学級数が通常学級56学級で前年度比増減なし、特別支援学級が13学級で前年度比増減なしで中学校全体でも学級数は増減なしとなりました。中学校につきましては、全体で90名の減となっておりますが、主に1年生の人数が減っており、もともと住基上でも人数が少ない学年となっております。

また、人数が減っている中で中学校の学級数は変わらない理由としましては、今年度より1年生が40人学級から35人学級となったことから、結果的に学級数の増減なしとなったものです。

以上でございます。

それでは②に移ります。

令和8年度教職員定数・配当についてですが、こちらは今年度の教職員定数と加配の配当についてとなります。

表の一番上の段でグレーの色付きの部分が項目となります。その中で「教職員定数」をご覧ください。「教職員定数」の項目の中央付近に「日本語指導対応」

と「通級指導対応」が隣り合って計上されております。こちらは、今年度から教職員定数へと変更となったもので、昨年度までは定数外の追加教員となる加配枠となっておりました。

「日本語指導対応」は、対象児童生徒数18名で1名の教員を当てることができ、小学校で9名、中学校で2名を定数として学校に配置しております。こちらは昨年度比で小学校が3名の増、中学校が1名の増となっております。

次に「通級指導対応」につきましては、対象児童生徒数13名で教員1名を配置することができ、小学校に今年度6名を配置しており、昨年度比2名の増となりました。

次に定数外の項目には様々な加配を計上しておりますが、今年度は県からの配当が少なくなっており、先ほどの日本語指導対応等が定数化したことによるものではないかと考えております。

最後に、合計数になりますが、小学校が286、中学校が140、合計で426が教職員を配置できる枠となり、4月1日現在ですべての枠に教職員を配置しており、産休、育休、病休者の代わりの教員もすべて配置できております。

以上でございます。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

小中一貫教育推進「はばたきプラン」の資料は、従来の資料とは違い、構成や見せ方が斬新で印象に残りました。視覚的にもわかりやすかったです。

第三ステージ、いわばこれから10年間の挑戦を、皆さんで目指していくという点が、とても良いと感じました。

●山口小中一貫教育課長

すぐに大きく変革しようというものではありませんが、市民や保護者、そして子どもたちが「八潮市は小中一貫教育に取り組んでいる」と胸を張って言える、また今後も言い続けられるような取組として、さらに深化させていきたいと考

えています。一方で、教職員への周知や理解を図り、同じ方向を向いていただくことの難しさも感じております。そうした中でも、丁寧に伝えながら、共に考え、取り組んでいければと思っております。このような想いのもと、八潮市の小中一貫教育の新たなステージとしてスタートいたしました。引き続きよろしくお願ひいたします。

○木下委員

八潮市学校適正配置指針・計画（案）及び北部地区個別計画（案）に対する意見募集を拝見し、感じたことをお話しします。

子どもたちの率直な気持ちや、現在在籍している保護者の方、またお孫さんを通しての方など、さまざまな立場のご意見を伺いましたが、共通しているのは「自分の子どもをしっかり見てほしい」という想いだと感じました。

多くの意見からは、八條北小学校の歴代の校長先生や先生方が熱心に取り組んでこられたことへの信頼がうかがえます。ただし、これは特定の学校に限るものではなく、すべての学校、すべての保護者が同じ思いを持てる環境であるべきだと思います。

小規模校だから目が届くというだけでなく、大規模校であっても、子ども一人ひとりをしっかり見ていただける体制づくりが、今後さらに求められると考えます。

子どもたちが現在、元気に楽しく友達と過ごせているからこそ、人数が多くなってしまう学校に対して不安を感じる気持ちも理解できます。

少し厳しい言い方になってしまいますが、これまで長年にわたり進めてきた教職員の負担軽減の取り組みを踏まえれば、先生方には最大限の力を発揮し、目の前の子どもたちにしっかり向き合っていただきたいと思います。保護者や地域もそのための負担軽減を受け入れてきました。

今後の10年間は、改めて本気で子どもたちに向き合い、愛情と想像力をもって対応していただきたいです。不安を抱える方々には、これまで以上に丁寧な対応をお願いしたいと思います。

そして学校統合の際には、「この学校に通わせてよかった」とすべての保護者が思えるような取り組みを進めていただきたいと強く願っています。

○橋本委員

北部地区についてですが、サードステージの向上も含め、事業を始めるにあたっては、これまで十分に協議を重ね、より良いものにしていこうという想いで進めてきたと思われまます。子どもたちを中心に据えて、丁寧に話し合いながら少しずつ形にしてきたものであり、その時点では適切な内容だと考えております。

しかしながら、現在は学校建設における資材高騰や、社会状況の変化、子どもたちの転出入、さらには心を痛めるような出来事など、その時々状況に応じて一つひとつ丁寧に対応してきた結果、今のような現状に至っていると認識しています。そうした中でも、関係者は専門的な立場から建設的に議論を重ねてきていると感じています。

一方で、そのような経緯や想いが、保護者の皆様に十分に伝わっていない現状もあると感じています。情報が不足していると受け取られる部分もあるかと思ひます。私自身、教育委員として内部に関わる中で、ここまで真剣に子どもたちのことを考えて議論しているということを実感しましたが、これは実際に中に入って初めて分かる部分も多いと感じています。

そのため、こうした取り組みや思いが、より広く伝わることを望ましいと考えていますが、受け止め方には温度差や個々の考え方の違いがあることも理解しています。また、どれだけ丁寧に話し合いを重ねても、必ずしもその通りに進まない現実があることも強く感じています。

はばたきのサードステージ向上については、教育委員会として同じ方向性・ビジョンのもと、共通の思いで取り組んでいることを実感しています。こうした積み重ねが、パブリックコメントに寄せられている保護者の皆様にも少しでも伝わり、子どもたちのことを第一に考えて進めているという点が、教育委員会の定例会の議事録等を通じて共有されれば良いと感じました。

また、先日の入学式に出席した際、小学校と中学校の様子を拝見しました。小学1年生の中には落ち着かない様子の子どもも見受けられましたが、6年間の学びを通じて、教員が日々丁寧に指導を重ねた結果が、卒業時の成長につながっていることを、小学校・中学校それぞれの入学式・卒業式を通して改めて実感しました。

こうした教員の努力や、これまで積み重ねてきた取り組みについても、保護者の皆様にもう少し伝わればよいと感じています。期待がある一方で、何かあった際に不安や疑問が強く現れることもあり、それが時に厳しい意見として現れることもあると思います。ただ、すべての保護者が否定的な意見を持っているわけではなく、取り組みを評価している声も確かに存在しています。

そのため、現在進めている取り組みや議論が、子どもたちを中心に据えたものであるという点について、今後も丁寧に伝えていくことが重要であると、すべての議題を通して感じました。

○加藤教育長職務代理者

給食についてですが、今後募集を予定しているとのことですが、前回、新設小学校において事業者の選定に時間を要した経緯がありました。今回の見込みや状況について、どのようにお考えでしょうか。

●竹田保健給食課主幹

本件は、基本構想及び基本計画に係る PFI 導入可能性調査のプロポーザルでございます。事業者からの質疑につきましては、2社から問い合わせがあり、既に回答を行っているところです。

このことから、本プロポーザルについては、一定数の事業者の参加が見込まれるものと考えております。

○高橋委員

今月から新規採用の先生方が着任されているかと思いますが、八潮市の教員として、現在どのような状況で授業に取り組まれているのか、また、心構えや意識の面についてもお聞かせください。

●山口小中一貫教育課長

4月1日の着任式において、初任者の先生方を対象に、サードステージの小中一貫教育及びこれまでの八潮市における取組について説明を行いました。せっかくの機会でしたので、振り返りとして感想もお願いし、全員から回答をいただいています。内容としては、「八潮のイメージが変わった」といったものや、「小中一貫教育については聞いたことはあったが、具体的な取組や今後の方向性がよく理解できた」といった意見が多く見られました。

初めて触れる内容であったことも一因と考えられますが、これまで八潮スタンダードとして取り組んできた内容や、次期学習指導要領の改訂を見据えた考え方など、市としての思いやビジョンをしっかりと伝え、理解していただけたのではないかと、感想を見て感じています。

現在はすでに授業も始まっており、小学校では担任として業務をスタートしている状況です。今年度は学務係とも一体となって進めてまいりますので、小中一貫教育課として、現場の状況をしっかりと見届けながら、適切な指導・支援を行っていきたいと考えております。

●猪原教育部理事

新しい取り組みについてプレゼンテーションを行うと、今の若い先生方は非常に関心を持って前向きに取り組んでくれる印象があります。将来への可能性も感じられるところです。

一方で、これまで先輩方が積み重ねてきた、目に見えにくい実直な取組、例えば何度も家庭訪問を行ったり、朝子どもを待って迎えたりといった、いわゆる泥臭い部分については、十分に伝わっていない面もあると感じています。

そうした見えにくい部分とのギャップによって、2年目の教員がうまくいかなくなってしまうケースも見受けられます。私たちの仕事はあくまで子ども中心であり、その点は決して外してはいけないと考えています。子どもがいて、初めて成り立つ仕事ですので、その根本をしっかりと押さえる必要があります。

そのため、こうした泥臭い部分も含めて理解していただけるよう、初任者に対して丁寧に指導していくことが重要であり、その役割は校長先生や先輩教員に担っていただく部分が大きいと考えています。ここがまさに次のステージだと思っております。

八潮市としても、この点は決して忘れることなく、先生方や管理職の方々にしっかり伝えていきたいと考えています。そして、その考え方にしっかり向き合える教員を育てていくという強い意識を持って、指導にあたっていきたいと考えております。

○高橋委員

先生方の間でも世代間のギャップというものがあると認識しており、その解消に向けた取組が課題の一つであると感じています。当然、子どもたちと同様に、教員においても世代による考え方や得意分野の違いがあり、これらをいかに補い合いながら埋めていくかが重要であると考えております。特に新規採用の若い先生方はITに関して非常に習得が早く、柔軟に吸収していける一方で、経験のある先生方の中には、その部分への対応に苦勞されている方もいらっしゃるのではないかと感じております。

そのような中で、世代間のギャップをそれぞれが歩み寄る形で解消していき、授業や学習指導に支障が出ないようにしていくことが重要だと思っております。

そのためにも、各学校において世代間のギャップを補完できる体制づくりが求められるとともに、校長のリーダーシップの下で組織的に取り組んでいくことが重要であると考えております。これらが適切に機能することで、より良い形で指導体制が整っていくのではないかと感じております。

○木下委員

泥臭い取り組みというのは、とても大事だと思っております。泥臭いからこそ、子どもたちの成長が見られたり、心が育っていくのではないかと感じております。

先日、中学校の入学式に出席した際にも感じたのですが、子どもたちの姿勢がとても良く、特に大きな練習を重ねたわけではなく、その時の指導の中でしっかりと入学式を迎えていたように見受けられました。

これは、小学校6年間の積み上げ、そして最後の卒業式に向けて先生方と共に学んできた成果が、中学校での姿として現れているのだと思います。

そのような意味で、小学校の先生方には、6年間の積み重ねが中学校でしっかりと実っているということを、ぜひお伝えいただきたいと思っております。

また、子どもたちの成長や良い面についても、もっと積極的に先生方へ伝えていくことが大切だと感じています。保護者の方も一生懸命取り組んでくださっている中で、批判や否定的な言葉ばかりが続くと、どうしてもやる気を失ってしまうこともあるかと思えます。ですので、子どもたちの素晴らしい成長について、たくさんの良い面をシャワーのように浴びせるくらい共有していただき、先生方にもぜひ前向きに取り組んでいただければと思っております。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。